



南信州 緑のすずり

地域ぐるみ環境 ISO 研究会 301

ぐるみ通信

09.10.26

<http://www.city.iida.lg.jp/iidaspyher/kankyo/iso/index.html>



生活と環境まつり 2009

「どんぐり通信」をお届け！
子どもから大人まで、大胆な作品や傑作作品ができました。



10月24日～25日 県体育館にて

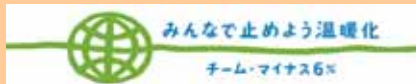
段ボール材料は、(株)アイパックス様から提供いただきました。

【ご意見、お問合せ】【配信解除】

沢柳俊之(多摩川精機(株))研究会事務局

横田 豊(飯田市役所) 研究会事務局

ic1386@city.iida.nagano.jp



三〇〇号記念実務者の声

三〇〇号を記念して、研究会の実務者の皆様から寄稿の第2弾をお届けします。

タイトル(題名)	事業
所名	事業
氏名	本文

環境活動を全社からそれぞれの地域に

旭松食品株式会社
安藤 正和

ぐるみ通信発行三〇〇号おめでとございませう。

本研究会の実務者としてお世話になり四年半が経ちました。それまで環境についてあまり考えもしなかった私が、実務者として会社また地域に対して環境活動を推進していく立場になりましたが、これまでに多くの方々のご指導、ご鞭撻を頂き、なんとが現在に至っております。

旭松食品としましては、全国的に工場を展開している事を活かしまして、本研究会の取り組みを他県の工場へも展開をしております。ノーマイカー、ライトダウンの活動も関東、近畿地方での活動が定着しております。

これからについて思う オムロン飯田株式会社

しく変わっております。企業として地域にどのように関わっていくかを一つのテーマとして活動して参りますので、今後ともよろしくお願い致します。

「オール電化はCO2を出さない！」

飯田市役所
鈴木 義光

中電さんの宣伝ではありませぬ。3歳の娘が言った言葉です。テレビのCMが何かついていっているわけではありませぬがドキッと思いました。また少し嬉しさも感じました。最近、プラマークと紙マークを確認してゴミ箱に入れています。保育園で教えてもらったよつです。

昨年、ある保育園の環境活動に一緒にさせていただく機会が多くあり、これからの未来を担う子どもたちへの環境教育の有意義を感じました。今後、研究会としても積極的に取り組み、環境学習を通じて、人材育成・人材確保につなげていけたらと考えます。

原 瞳

環境マネジメントシステムにおける活動の分野に広がりがある求められた時期と同時に、研究会の活動が、参加企業内だけでの貢献活動から、地域への環境貢献に移り変わり、参画の目的に狂い無く現在まで至りました。そして今研究会は、環境モデル都市のアクションプラン達成において重要な位置づけとなり、更なる期待がかかっています。メンバー企業それぞれが、「参加から」「主動」へと変革し、確実な成果が出せる会へと導いて行きますよ。

「ぐるみ通信」は財産

TDK飯田株
林 保治

「ぐるみ通信三〇〇号」おめでとございませう。作成担当



当になられた歴代の方々、ありがとうございました。

通過点ではありますが、やはり継続は力だと感じます。ぐるみ通信が残してきた記事の積み重ねが、「地域ぐるみISO研究会」や地域のみなさんが築いてきた環境活動の記録だと思えます。これからも環境活動のサポート・影響評価の記録として、さらに大きな財産となることを期待します。

共に創る地球の未来

化成工業株式会社
田中 和浩

ぐるみ通信三〇〇号達成おめでとございませう。

今年四月より前任者より引継ぎ実務者として活動しております。地球環境改善活動は継続することが大切です。

継続するための不可欠な要素として共に頑張れる仲間が必要で。

この企業・団体の壁を越えた地域一体の活動である地域ぐるみISO研究会は効果的に継続するためにも心強い活動です。

この活動に参加させて頂きながら地球の明るい未来へ繋げていきたいと思えます。

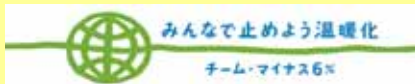
環境担当になって一年
飯田市役所
横田 豊

『循環型社会形成推進功労者表彰』(事業者の部門) 受賞!!

10/15、「長野県循環型社会推進大会」において研究会メンバーの榊マエダが、資源物資の収集等を通じた環境負荷低減の取り組みや、地元中学生の職場体験学習の受け入れによる環境教育等が高く評価され、知事表彰を受賞しました。

早いもので、昨年11月に異動になりもう一年になります。「ISO」や「EMS」を始め苦手な横文字を理解するのに今でも苦労しています。それでも、内部監査員として数力を回りましたが経験こそが力になるものと思いたした。

昨年のISO研究会の環境講座で「仕事も遊びも大事だ、けど地球環境がダメになつて生活ができなくなる」との方がもっと大事です。「この言葉を印象深く感じています。当研究会の目的の一つに一人一人の意識を高め、地域全体に広める。まさしく「地域ぐるみ」の取り組みは大変重要です。これからも地球に優しい生活を意識していきたいと思えます。



http://www.city.iida.lg.jp/iidaspher/kanky/iso/index.html

「生活と環境まつり」一斉行動週間の結果 「環境に配慮した日常生活の定着を!!」

10月19日から25日までの一週間、地球温暖化防止一斉行動に取り組みました。今回は、長野県で実施した「県下一斉ノーマイカー通勤ウィーク」や「生活と環境まつり」のエコキャップ回収にあわせて展開しました。

少しずつではありますが、日常生活の中に浸透してきており、これからも継続して取り組みを呼びかけていきたいと考えています。

今回のCO2削減推計値は 「24.8t」

取り組み全体の参加事業所は100事業所、参加者は8403人。

それぞれの取り組みの実績は、ノーマイカー延べ7748人、17.1t。ライトダウン延べ11499人、6.1t。ノリレジ袋延べ23902人、0.2t。アイドリ

エコキャップ回収重量は 「200kg」

「生活と環境まつり」で回収したエコキャップの総重量は200kg、およそ8000

0個になります。これにより100本分のポリオワクチンを提供することが出来ました。ある事業所では、6月の一斉行動以降は独自に運動を継続しており、毎月約2kgを回収しています。また、実績を焼却処分した場合のCO2発生量に換算して取り組みによる削減量として社員にPRしています。

ノーマイカーの 特徴的な取り組み・意見

県下一斉の運動も紹介いただきましたので、これにもエントリーし積極的に参加いたしました。徒歩や電車通勤を呼びかけ多くの職員が参加しました。特に徒歩は述べ8名、電車は述べ15名でした。これをきっかけに徒歩通勤継続者が2名出ています。

全曜日には「強制ノーマイカー通勤日」として文休行事+懇親会を計画しました。職員20名中12名が参加し、下山の事業所から飯田市中央通りまで約2kmを歩きました。その後、10名あまりで某所(駅前商店街のサービス対象)で懇親会を行いました。ノーマイカー通勤については、各自から1週間の計

画表を提出していただき、公共交通機関の利用、相乗り等により自家用車による通勤を行わない強調週間とした。

ノリレジ袋の 特徴的な取り組み・意見

コンビニでのおでん購入はマイ鍋を持参。ノリレジ袋活動は当然の事なので取り組みから除いたらどうですか。

エコドライブの 特徴的な取り組み・意見

各営業所でエコドライブ目標を決め、10月から12月までエコ安全ドライブ期間として実施中。ノーマイカーは難しいが、せめて「地球に優しい」運転を心掛けたい。

その他の 特徴的な取り組み・意見

お昼の宅配弁当の割り箸を中止し、マイ箸に変更した。品物の買い替え、購入の際はエコマークを重視する。生ごみは焼却ごみとせず、家庭菜園の肥料として出る。出来ることをこつこつとではなく、やるべきことはやる!!という状況になってきている。エコ商品やエコカーに買い換えるのも良いが、今あ

る物を大事に使うこともエコになると思います。地域ぐるみでの取り組みの推進、素晴らしいことだと思います。継続を期待します。

南信州いいむす21 初の「上級」誕生!!

「自然豊かな南信州で産業を営む事業所として、企業の発展はもとより地域社会の発展に貢献する使命と責務を自覚している。これを契機に更なる取り組みを進めていきたい」とシルクホテル中田製系(株)中田社長の言葉です。



登録証交付式

11月17日、飯田市役所保健センターにおいて、「南信州いいむす21」登録証交付式が行われました。初級からの上級登録事業所となり、シルクホテル中田製系(株)を始めとして20事業所が登録証

を受理しました。シルクホテル中田製系(株)はホテルやレストランを経営している会社で、「エコチャレンジ20」を環境方針に掲げ、顧客の満足度向上と循環型社会の形成に向けた取り組みを積極的に行っています。

【上級】

シルクホテル中田製系(株)

【中級】

(有)アイエス精工 / (株)ヨシカズ / (株)丸宝計器 / 多摩川精機エレクトロニクス(株) / 飯田精密機

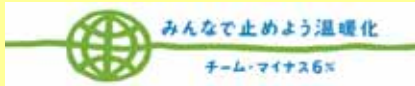
【初級】

(有)龍光電気工業 / (有)三笠エンジンアリング / (株)林精機 / 田中精機(株) / アザレミックス(株) / (株)ミニ / 信南サービス(株) / (株)協電社 / (有)森脇精機 / (有)愛光電子 / (株)タニガワ / (株)エヌイー / 多摩川精機航空電装(株) / (有)大蔵製作

南信州いいむす21 登録事業所

【南信州宣言】 2 【上級】 1
【中級】 10 【初級】 42
合計 55

【ご意見、お問合せ】【配信解除】
沢柳俊之(多摩川精機(株))研究会事務局
横田 豊(飯田市役所) 研究会事務局
ic1386@city.iida.nagano.jp



2009年を振り返り!! 寅にバトンタッチ

二〇〇九年を振り返り皆さんはどんな一年でしたか? この一年の主な出来事を簡単にまとめてみました。

地域版環境マネジメントシステム「南信州いいむす21」では、「一社目となるISO14001南信州宣言(木下建設株)が誕生し、更に初の上級(シルクホテル中田製紙株)が誕生しました。そして、今年も多くは多くの事業所が更新を迎え、研究会の実務者の皆さん総出で審査を対応していただきました。



年三回のノーマイカーを中心とする一斉行動を実施してきました。今年は、エコキヤップを新たに加えましたが、改めてペットボトルの利用者が多いことに驚かされました。



一月二十三日、飯田市は低炭素社会を目指し大幅な温室効果ガス削減の目標を掲げ「環境モデル都市」(全国十三都市)に選ばれました。二月の代表者会の席でその概要について説明がありました。

四月、市役所では、新たに「地球温暖化対策課」が誕生し、小林敏昭課長以下八名の体制でスタートしました。環

境モデル都市行動計画に沿って事業をすすめています。

七月市役所の内部監査には研究会の皆さんをはじめ外部から六〇名余の皆さんにご参加いただき、改善提案やシステム提案など行っていました。次年度に向けてしっかりと検証していきます。

十月に入り、生活と環境まつりへの参加にむけて、事前に里山作業に汗をながし、当日は、間伐材やドングリを使って沢山の芸術作品が誕生しました。



自転車市民共同利用システムが十月二十六日にスタートしました。研究会の十三事業所の皆さんにも通勤や業務に利用していただいています。市内全体で一三〇台配置しま

した。十一月分の利用状況では、一台平均約三〇キロの利用でした。これからは、益々寒くなる時期ですが、積極的にノーマイカーには取り組んでいきたいと思えます。



一年は、たちまち
来年も、皆様にとって素晴らしい年でありますように。
今年一年 大変お世話になりました。

南信州いいむす21交付式 中級へステップアップ

12月18日、飯田市役所市長公室にて、「南信州いいむす21」登録証交付式が行われました。初級から中級へのステップアップが3事業所と初級更新が1事業所ありました。環境改善活動として、一歩ずつでも上位にチャレンジしていただくことは、このシステムのねらいのひとつです。

中級にステップアップした事業所は、「近藤マテリアル(株)」、「(有)野中製作所」、「(株)三和精機」。初級更新事業所は、「(株)浜島精機」です。



【ご意見、お問合せ】【配信解除】
沢柳俊之(多摩川精機(株))研究会事務局
横田 豊(飯田市役所) 研究会事務局
ic1386@city.iida.nagano.jp



南信州いいむす21 南信州宣言登録証交付式

2月18日、南信州いいむす21の登録証交付式が行われ、(株)三六組の長坂社長に牧野連合長から登録証が手渡されました。三六組は、2006年12月に最上級の『南信州宣言』登録事業所第一号となり、3年が経過した今回、更新登録となりました。

取組目標に、工期短縮による環境負荷の軽減や地域の環境美化活動の実施を掲げ、組織の最高責任者である社長のリーダーシップのもと、社員全員がその考えや思いを理解し、自発的な活動が進められ、平均9日間の大幅な工期短縮の達成や、植栽等による美化活動を積極的に進めています。

登録証を手にした長坂社長は、「南信州いいむす21は、国際規格のISOの認証と同様の取組が安価でできる。建設業界では品質のISOを認証取得している会社は多いが次のステップである環境への取組となると大変な作業が必要となる。南信州いいむす21の初級からチャレンジすれば取り組み易いのではないか。

また、社員が一人でも理解していないとため。社員の環境教育も重要である。これから南信州いいむす21の取り組みを通して、環境保全や環境負荷軽減の大切さをアピールしていきたい」と決意を表明されました。



1・23記念イベント 低炭素な南信州を目指して

1月23日という日は飯田市にとって大きな意味を持つ日です。2003年1月23日には当時、日本の自治体で初めて審査機関による認証登録から

自己適合宣言に移行しました。規格との適合や客観性・透明性を担保するためのシステムを構築して現在の運用に至っています。昨年2009年1月23日には国から環境モデル都市の認定を受けました。太陽光発電や木質バイオマス等の新エネの更なる推進を進めるとともに、市民や観光者に無料で自転車を利用する自転車共同利用システム、飯田市のシンボルりんご並木沿いに環境配慮型のエコモデルハウスの建設、地元の企業グループで研究製作したLED防犯灯の設置など新たな事業も展開しています。そこで、この日を記念したパネルディスカッションを開催します。パネリストには、環境モデル都市等の先進的な取り組みに詳しい内閣官庁地域活性化統合事務局の浜島直子さんと、ISOの審査員で



ISOの審査員で

もあり国際的に活躍されている南大学経営情報学部



准教授の山本芳華さん。コーディネーターとして、飯田市民も毎年参加している環境首都コンテストを行っているNPO法人環境市民の下村委津子さんの女性3人をお迎えして各分野の先進事例を紹介していただきながら、南信州地域の低炭素社会の実現に向けて考えたいと思います。
ご希望であればどなたでもご参加いただけます。是非とも皆さんお誘い合わせのうえご参加くださいますようお願いいたします。

1.23記念イベント
“低炭素な南信州を目指して”
日時：2月26日(金)
午後6:00~7:30
会場：飯田市役所3階会議室
【お問い合わせ】
飯田市地球温暖化対策課
0265-22-4511 内線5245

世界遺産フォーラム 南アルプスin飯田

南アルプスは、日本列島の中央に位置する我が国を代表する山岳地帯です。北の鋸岳から南の光岳まで重量感あふれる山岳風景を形成し、河川の源流部となっています。キ

タダケソウを始めとした貴重な高山植物の宝庫であるとともに、その地形・地質は日本列島の誕生に関わる重要な遺産です。そこで、南アルプスの世界自然遺産登録に向けて多くの皆さんが世界遺産への取組を通じた持続可能な美しい地域づくりに関する理解を深め、各所に残る素晴らしい遺産を地域主体のもとと保全する機運を醸成するため、世界遺産の魅力伝えるフォーラムを開催します。

日時は、3月27日(土)午後1時から5時半まで。会場は飯田文化会館。2部構成となっており、1部はユネスコ前事務局長の松浦晃一郎氏による「世界遺産検定！今後の在り方を考える」と題した特別記念講演と国内の世界遺産関係者によるパネルディスカッション、2部は南アルプス学術報告会を行います。

入場は無料ですが、事前申込みのうえに参加ください。参加申込み、お問い合わせは、飯田市環境課(0265-22-4511)内線5248まで。

【ご意見、お問合せ】【配信解除】
沢柳俊之(多摩川精機(株)研究会事務局
横田 豊(飯田市役所) 研究会事務局



京都議定書発効5周年記念 一斉行動週間のまとめ

2月16日から22日までの1週間、京都議定書発効5周年を記念して取り組みました地球温暖化防止一斉行動の結果がまとまりました。今回は「ノーマイカー」と「ライトダウン」に加えて、新たに「待機電力」と「グリーンコンシューマー」に取り組みました。取り組み全体としては、105

ライトダウンの取り組み

の参加事業所 10、265人の参加により、CO2換算にしておよそ30.8tの削減効果がありました。『このような活動を通じてエコに対する意識が高まると思つので、継続して欲しいと思います』『地球温暖化を真に考え、こつこつ活動を意識しながら生活していけるようになつた』といった意見が聞かれ、少しづつではありますが、日常生活の中で環境に配慮した行動が定着しつつあると感じました。取り組みごとの実績及び意見は次のとおりです。

ノーマイカーの取り組み

参加延べ人数9、510人、CO2削減効果およそ21t。

待機電力削減の取り組み

参加延べ人数20、899人、CO2削減効果およそ1.3t。『毎朝出勤時に部屋のコンセントを抜いてから出かけるようにしています』『今回、層間留守な自宅の電化製品をコンセントから抜いておく習慣ができました』

グリーンコンシューマーの取り組み

参加延べ人数24、408人、CO2削減効果およそ1t。『今までは、買い物時にエコバックを持って行くくらいしかやっていなかったのですが、これからはもつと他の



その他の取り組み

『電気毛布をやめ、湯たんぽを使用するようになった』『昨年実施していたエコキャップ運動を子供たちと今も続けています』『使用済みの食品トレイを近隣のスーパーなどのリサイクルボックスへ出していきます』『ソーラーケッキングや保温調理で燃料費の節約、エコクッキングもやっていきたい』

環境モデル都市 飯田の1年

環境負荷のより少ない乗り物への転換を進めるとともに、「自転車のまち」を目指すために、無料の自転車貸出自転車市民共同利用システム推進事業」を昨年10月にスタートしました。坂の多い飯田市でも気軽に自転車を利用できることを体験するとともに自転車の楽しさを実感してもらっています。

ネスク イイダと地元企業により、小型で省電力・低価格の2種類のLED開発に成功しました。これにより、市内の約6、000本の防犯灯のうち半分の約3、000本がLED化されることになりました。今後は、他の自治体へも販売先を広げていきます。

人事異動のお知らせ

三月二十三日、飯田市役所では新年度に向けての人事異動内示がありました。関係する者についてお知らせいたします。

【転出】小林敏昭(水道業務課長)、横田豊(危機管理・交通安全対策室)

短期間でしたが、大変お世話になりました。

【転入】地球温暖化対策課長 飯島剛(文 化会館長)

【昇格】ISO推進係長 桜井裕司(地球温暖化対策課)

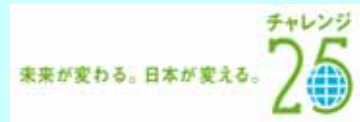
今後ともよろしくお願いたします。



【ご意見、お問合せ】【配信解除】
沢柳俊之(多摩川精機(株))研究会事務局
横田 豊(飯田市役所) 研究会事務局
ic1386@city.iida.nagano.jp



ぐるみ通信



<http://www.city.iida.lg.jp/iidaspher/kankyo/iso/index.html>

10.04.30

地域ぐるみ環境 ISO 研究会 事業所代表者全体会

4月21日、地域ぐるみ環境 ISO 研究会の事業所代表者全体会が開催されました。

代表者・実務者の交代の報告が行われた後、今後の取り組みについて審議されました。最初に温室効果ガス排出量削減の先導的な取り組みとして、萩本代表から次のような説明がありました。

「昨年、飯田市が環境モデル都市の指定を受け、温室効果ガス排出量を 2030 年に 40～50%削減、2050 年に 70%削減を打ち出した。また、政府もこの 3 月に地球温暖化対策基本法を閣議決定し国会に提出し、2020 年までに 25%削減の目標を明記している。このような状況下、南信州発の温室効果ガス削減を先導するしかけが必要になってきており、具体的な削減行動を地域社会全体に広げていかないと飯田市や国の目標を達成できない。温室効果ガス排出量をいかに削減するか、どのようにアプローチするか研究し、研究会から事業所や市民活動へ提案をしていきたい。」

具体的な取り組みとして、温室効果ガス排出 50%削減を目指したプロジェクトチームを編成し、温室効果ガス排出量削減の研究・提案をしていくことを決定しました。

また、温室効果ガス排出量の把握・集計の継続を確認した後、南信州いいむす 21 の運用について次のとおり変更・追加することが承認されました。

南信州宣言の審査員資格について、主任審査員は環境審査員補の有資格者、審査員は ISO14001 内部環境監査経験 5 回以上の者へ変更する。

いいむす 21 の要求事項に温室効果ガス排出量の把握を追加する。

いいむす 21 の取り組みフローについて、南信州宣言においては、毎年 1 回定期確認を追加する。

この他、研究会を代表して、三菱電機(株)中津川製作所飯田工場の白金工場長が「南信州広域連合計画策定委員」として参画して頂くことを確認するとともに、まとめとして、牧野市長からは「第 9 回環境首都コンテストにおいて飯田市が全国で総合 2 位となったが、最終回となる第 10 回には環境首都となるよう研究会の皆さんを始め地域全体で取り組むようご協力いただきたい。」と締めくくりました。

南信州エコ・ドライブ 1000 人プロジェクト

飯田地球温暖化対策地域協議会ではエコドライブの実践的なノウハウを取得している構成団体を中心に、体系的、体感的なエコドライブ実践講座を先導的に行い、その取り組みの環を地域に広げていくために南信州エコ・ドライブ

1000 人プロジェクトを実施します。エコドライバーを地域で 1000 人(個人、企業単位)先導的に無料で育成する事業で、4 月～11 月までカリキュラムに伴う講座(半日)を受講した後、エコドライバーとして認定されます。



現在、受講生を募集していますので、希望者はドライビングスクールアジマ(0120 17 1559)へ申し込んで下さい。

サイクルサロン 2 が開催されました

満開の桜の下、4月4日飯田市役所りんご庁舎において「サイクルトークサロン2」が開催されました。サイクルライフナビゲーターの絹代さんをお招きして、自転車についてのトークショー、その後、希望者とともにお花見ポタリング(自転車散策)を行いました。

今後モイベントを開催しながら自転車の普及に努めていきます。

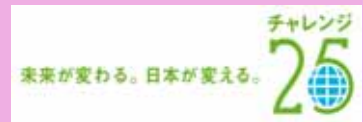


[ご意見・お問い合わせ・配信解除]
地域ぐるみ環境 ISO 研究会事務局
沢柳 俊之(多摩川精機)
桜井 裕司(飯田市役所)
ic1482@city.iida.nagano.jp





ぐるみ通信



<http://www.city.iida.lg.jp/iidaspher/kankyo/iso/index.html>

10.05.25

「環境の日」一斉行動 ご参加を!!

「環境基本法」において6月5日を「環境の日」と定めており、全国で環境に関する取り組みが行われます。そこで、今年も例年とおり「環境の日」を記念した一斉行動週間を行います。

今回は、長野県が実施する「県下一斉ノーマイカー通勤」にあわせて、6月7日(月)から13日(日)までの一週間を実施期間とし、

ノーマイカーの実施 ライトダウンの実施 待機電力の削減 グリーンコンシューマー活動について取り組みます。ノーマイカー、ライトダウンは、継続して取り組んでおり日常生活の中に定着しつつあります。グリーンコンシューマー活動は、ノーレジ袋からひとつ上の取組へと展開していきたいと考えています。是非ともご参加をよろしくお願ひします。取組の詳細につきましては、研究会のホームページをご覧ください。

<http://www.city.iida.lg.jp/iidaspher/kankyo/iso/index.html>



「県下一斉ノーマイカー通勤」への参加は参加事業所の判断にお任せしますが、こちらへの参加も積極的にお願ひいたします。詳細につきましては、長野県のホームページをご覧ください。

<http://www.pref.nagano.jp/kankyo/kansei/nomycarweek/index.htm>

登録証交付式

～先輩から次の世代へ～

「先輩の意思を引き継いで更新してくれた事を嬉しく思います。生徒が卒業して入れ替わるため難しいかもしれませんが、OIDE精神で是非、ステップアップにチャレンジしてください」5月21日(金)、南信州いいむす21登録証交付式における飯田工業高校生徒会への牧野市長の言葉です。今回は、飯田工業高校生徒会を含めた5つの事業所等に対して交付となりました。



新規登録は、潜熱回収型ガス給湯器や太陽光発電システム等により高効率エネルギーを推進しており地域ぐるみ環境 ISO 研究会のメンバーであるイワタニ長野(株)飯田支店、飯田下伊那のし尿処理を行っている飯田環境センター竜水園の2つ。更新登録は、本来業務と環境活動を結びつけ、自動車のエコ整備を推進している(株)イイダサービス、南信州いい



むす21の認証登録を行っている南信州広域連合事務局、環境配慮型工業製品の研究やISO新聞の発行等により生徒全員で取り組んでいる飯田工業高校生徒会の3つ。

これにより、南信州いいむす21の登録事業所数は、初級37、中級14、上級1、南信州宣言2の合計54事業所。取組宣言は6事業所。

「目指せ! 環境首都」 トップインタビュー

飯田市役所の内部監査における重点監査事項を決定するうえで重要となるトップインタビューを開催します。今回は、「10&10 ISO 自己適合宣言とともに!! 目指せ! 環境首都」と題して、環境市民代表の枚本育生氏、第9回環境首都コンテスト総合1位水俣市環境モデル都市推進課長の川野恵治氏のお二人をお迎えして牧野市長との鼎談により飯田市の環境政策や環境マネジメントシステムの課題を探ります。

飯田市役所がISO14001の登録認証を受けてから10周年、環境首都コンテストも今回が最終回の10回目。3名によりどのような話が展開されるのか非常に楽しみです。事前申し込みは必要ありません。希望される方でしたらどなたでもご参加いただけます。お待ちしております。

日時: 6月7日(月)
午後6時~7時30分
場所: 飯田市役所3階会議室

[ご意見・お問い合わせ・配信解除余]
地域ぐるみ環境 ISO 研究会事務局
沢柳 俊之 (多摩川精機)
桜井 裕司 (飯田市役所)
ic1482@city.iida.nagano.jp



ぐるみ通信

<http://www.city.iida.lg.jp/iidasypher/kankyo/iso/index.html>

10.07.12

南信州いいむす 21 訪問支援実施中

南信州いいむす 21 のグレードアップの一環として、取り組み事業所の訪問支援を行っています。研究会参加事業所の実務者が、15 のチームに分かれて南信州いいむす 21 登録の 45 事業所（初級・中級・上級が対象で、直近に更新審査実施済み事業所を除く）を訪問し、各事業所のフォローを行っています。

今回の訪問は、審査ではなくあくまで支援ですから、事業所の相談に答え、良い点を評価し、改善点を提案しています。

南信州いいむす 21 に取り組む事業所の皆さんは、ステップアップの機会として、訪問支援を有効にご活用ください。

近藤明人さんを講師に 市役所内部監査員教育訓練

飯田市役所相互内部監査を前に、6月24日（木）内部監査員教育訓練が市役所で開催されました。講師は主任審査員の近藤明人さん。

講師の近藤さんは、飯田市が自己適合宣言をして以来、内部監査に参加しており飯田市の取り組みを熟知しているとともに、「地方自治体における環境マネジメントシステムの行政評価システムへの統合化」と題した論文も発表されています。「飯田市の内部監査は役に立っているか?」「日常管理と重点管理の違い」等、環境文化都市&環境モデル都市の実現のための監査となるよう教育を受けました。



飯田市役所相互内部監査 今年も参加者を募集します

7月14日（水）から飯田市役所環境マネジメントシステムの相互内部監査が始まります。

自己適合宣言を行っている飯田市にとって、この内部監査は、規格との適合性、システムの有効性を確認する機会でもあり、客観性、透明性を担保する機会でもあるため、非常に重要な位置づけとなります。是非ともご参加くださいますようお願いいたします。



相互内部監査の申込方法

参加条件は以下のとおりです。「監査」に参加いただくためには、

環境マネジメント審査員の有資格者 内部監査員養成コースの修了者 内部監査員として2年以上の経験者のいずれかの条件を満たしていること。この条件に該当していなくても、「オブザーバ」としての参加が可能です。

参加希望者は、次の内容を記し、メールでお申し込みください。

sakugen_co2@city.iida.lg.jp

お名前 勤務先など 電話番号、メールアドレス 資格・経験 監査を希望する課等（複数可） 「監査」「オブザーバ」の別

* 監査の日程及び重点監査事項等は下記のHPで公開しています。

<http://www.city.iida.lg.jp/iidasypher/kankyo/manage/index.html>



南信州いいむす 21 ～更新審査を通じて～

7月8日（木）飯田市龍江の（有）飯田美掃にて、南信州いいむす 21 初級の更新審査を実施しました。

木下社長より早朝3時30分から開始する廃棄物収集運搬業務の説明を受けた後、業務中の投棄ゴミの回収、市・自治会主催の環境作業に積極的に参加していること、低騒音の運搬車を購入し騒音発生防止に努めていること等環境への取り組みを確認しました。日常業務の中で気づく点として、「プラ資源の分別がかなりできていない。特にペットボトルが分別されていない。また、生ゴミの水切りが行われていない」といった現場の生の声を聞くことができました。一事業所の監査にとどまらず、地域としての問題点も情報発信したいと思います。



調理場で食品残渣を 見学しました

7月9日（金）グリーンクラブい〜だ主催で、矢高調理場における食品残渣の見学（説明及び意見交換）を行いました。大量の残渣をどう処理するか以前に、学校給食において、残渣を出さないためにはどうしたらいいのか改めて考えさせられました。将来を担う人材の環境学習の一環として、取り組みが必要です。

[ご意見・お問い合わせ・配信解除]
地域ぐるみ環境 ISO 研究会事務局
沢柳 俊之（多摩川精機）
桜井 裕司（飯田市役所）
ic1482@city.iida.nagano.jp



ぐるみ通信



<http://www.city.iida.lg.jp/iidaspyher/kankyo/iso/index.html>

10.08.05

飯田市役所 EMS 相互内部監査スタート

6月7日に実施したトップインタビューにおいて、今年度は環境首都コンテストを通じ、評価の高い環境マネジメントシステムのさらなるレベルアップを図るとともに、浮き彫りとなった課題を整理し、全体的な施策の底上げにより「環境首都」を目指すよう市長から指示がありました。これを踏まえて重点監査事項を決定し、これに基づいた飯田市役所環境マネジメントシステムの相互内部監査が始まりました。



【松尾浄化管理センターの内部監査風景】

今年の内部監査は、7月14日の国県関連事業課を皮切りに8月30日まで71の部課等で行われます。地域ぐるみ環境ISO研究会からも相互内部監査員、オブザーバとして延べ28人が参加。まさに相互内部監査の中心的な役割を果たしていると言えるでしょう。

7月中旬に大雨による災害が発生したため、日程変更を余儀なくされましたが、ようやく残りの部署及び環境管理責任者・事務局の監査日程が決まりました。今からでも間に合いますので積極的にご参加ください。



参加希望者は、次の内容を記し、メールでお申し込みください。

sakugen_co2@city.iida.lg.jp

お名前 勤務先など 電話番号、メールアドレス 資格・経験 監査を希望する課等(複数可) 「監査」「オブザーバ」の別

監査の日程等は下記のHPで公開しています。

<http://www.city.iida.lg.jp/iidaspyher/kankyo/manage/index.html>

南信州レジ袋削減推進協議会あり方検討委員会開催される

南信州におけるレジ袋削減の取り組みは、平成23年9月までに「レジ袋辞退率を80%以上にする」という目標を掲げ、平成20年10月から推進協議会構成員により取り組まれています。予想以上の取り組みで既に辞退率が87.4%と目標達成の状況となっています。

「協議会登録店舗における辞退率は高い。登録していない店舗への協力依頼を行いたい。コンビニ、ファミリードラッグへも広めたいので、協力を求めることはできるのではないか。この取り組みを、県内全体へ広めたい。」(今村良子委員長)



【レジ袋削減街頭行動風景】

また、一部の事業所のご好意でレジ袋削減の取り組みによる寄附金等の収益で、基金が約30万円となったため、この用途について今後検討することとなりました。地域ぐるみ環境ISO研究会も検討委員会のメンバーとして引き続きレジ袋削減の取り組みに協力します。また、基金の用途についてご意見をいただきたいと思えます。

南信州フィールドスタディ2010が始まります

今年も飯田市では、大学生を対象に地域政策に関するフィールドスタディを行います。

この事業は、全国に先駆けた飯田市のモデル的な取り組みを学生の皆さんに提供するものですが、地域ぐるみ環境ISO研究会の取り組みについても実地講座として組み込まれています。

この取り組みが、「人材サイクルの構築」(いったんは故郷を離れた若い人たちが帰ってこられる産業づくり、帰ってきたいと考える人づくり、住み続けたいと感じる地域づくり)につながるよう期待します。



【ご意見・お問い合わせ・配信解除】
地域ぐるみ環境ISO研究会事務局
沢柳 俊之 (多摩川精機)
桜井 裕司 (飯田市役所)
ic1482@city.iida.nagano.jp